

クラウド時代の医療 ICT の在り方に関する懇談会 開催要綱

1 目的

我が国の社会環境は、少子高齢化の進展や家族形態の変容など大きく変化してきている。これに伴い、疾病構造の変化や高齢者の支え手の不足など、我が国の医療・介護を取り巻く環境も大きく変化しており、医療から介護までの提供体制のネットワーク化により、利用者・患者のQOLの向上を目指すことが求められている。

他方、ICT技術は日進月歩で発展している。近年、クラウドサービスの普及やスマートフォン、タブレット等モバイルの進展等により、効率的なネットワーク化の可能性が広がりつつある。

このため、クラウド等ICT技術の活用が本格化する時代において、健康・医療・介護情報を個人が効率的に収集・活用する仕組み(PHR)の在り方やモバイル・8Kなどの最新技術の活用の在り方等について、広く関係者の意見を聞き、今後の政策の検討の礎とすべく、本懇談会を開催する。

2 名称

本会は、「クラウド時代の医療 ICT の在り方に関する懇談会」と称する。

3 主な事項

- (1) 個人が健康・医療・介護情報等をクラウド等を使って管理・活用する仕組み(PHR)の在り方
- (2) モバイルや8K技術の医療応用の在り方
- (3) その他

4 構成及び運営

- (1) 本懇談会は、総務大臣政務官及び厚生労働大臣政務官の共同懇談会として開催する。
- (2) 本懇談会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 本懇談会には、座長を置く。
- (4) 座長は、本懇談会を招集する。
- (5) 座長は、必要に応じ、構成員以外の出席を求め、意見を聴くことができる。
- (6) その他、本懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

5 議事の公開

- (1) 本懇談会の議事及び使用した資料については、次の場合を除き、公開する。
 - ① 公開することにより当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害するおそれがあると座長が認める場合
 - ② その他、非公開とすることが必要と座長が認める場合
- (2) 本懇談会終了後、速やかに議事概要を作成し、公開する。

6 開催期間

本懇談会は、平成27年6月から開催し、同年8月までを目途とする。

7 庶務

本懇談会の庶務は、総務省情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室及び厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官室において行う。

クラウド時代の医療 ICT の在り方に関する懇談会 構成員名簿

(敬称略、座長を除き 50 音順)

座長	金子 郁容	慶應義塾大学 政策・メディア研究科 教授
	秋山 祐治	川崎医療福祉大学 副学長
	大山 永昭	東京工業大学 像情報工学研究所 教授
	久野 譜也	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授
	近藤 克幸	秋田大学大学院 医学系研究科 医療情報学講座 教授
	津下 一代	あいち健康の森健康科学総合センター センター長
	友池 仁暢	榊原記念病院 院長
	永井 良三	自治医科大学 学長
	長瀬 清	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団 理事長
	長谷川 高志	群馬大学医学部附属病院 講師
	武藤 真祐	医療法人社団鉄祐会 理事長
	山崎 彰美	柏市保健所 所長
	山本 隆一	東京大学大学院医学系研究科 特任准教授
(オブザーバー)		
	有田 浩之	株式会社NTTドコモ メディカルICT推進室長
	宇佐見 正士	KDDI株式会社 技術統括本部 技術開発本部 本部長 (理事)
	大関 健一	ソフトバンクモバイル株式会社 ヘルスケアプロジェクト推進室長
	岡田 真一	日本電気株式会社 事業イノベーション戦略本部 ヘルスケア戦略室 シニアマネージャ
	河合 敏充	株式会社日立製作所 スマート情報システム統括本部 ヘルスケア戦略企画部 担当部長
	是川 幸士	日本電信電話株式会社 研究企画部門 医療健康サービスプロデュース担当部長
	多湖 英明	株式会社エムティーアイ ライフ・ヘルスケア事業本部 ヘルスケア事業戦略室長
	中須 祐二	株式会社セールスフォース・ドットコム 常務執行役員
	西原 栄太郎	株式会社東芝 ヘルスケア社 ヘルスケア IT 推進部長
	八田 泰秀	日本ユニシス株式会社 執行役員 ビジネスイノベーション 推進部長
	藤澤 秀一	一般財団法人NHKエンジニアリングシステム 理事長
	森田 嘉昭	富士通株式会社 ヘルスケアシステム事業本部 ライフイノベーション事業部 EHR・PHR 開発部 部長
	山本 拓真	株式会社カナミックネットワーク 代表取締役社長
内閣官房		情報通信技術 (IT) 総合戦略室 健康・医療戦略室
経済産業省		商務情報政策局 ヘルスケア産業課